

令和5年度（2023年度） 本科卒業式 専攻科修了式 式辞

卒業生並びに修了生の皆さん、ご卒業、ご修了おめでとうございます。また、これまで皆さんを支え、励ましてこられたご家族・関係者の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

昨年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後は、徐々に通常の生活を取り戻し、現在は日経平均株価が過去最高を記録するなど、世間は活気づいています。しかし、皆さんが在学していたうちの約3年間は、新型コロナウイルス感染症への対応が必要で、何事にも苦難な状況が続きました。それらを乗り越え、本日、ここに卒業、修了を迎えた皆さんに、お祝いの言葉を贈り、門出を祝したいと思います。

現在、国が主導するインバウンド誘致により外国人が街に溢れ、円安による輸出産業の好業績や海外半導体企業の日本進出の影響により、企業の賃上げの動きが加速しています。そして、ついに2016年に導入されたマイナス金利の解除が話題になる等、時代が大きく動いています。

一方、昨年の夏の異常な暑さにより「地球沸騰化」という言葉が世界で使われ始め、SDGsの実現が益々重要となっています。

この様な中、今「高専」が注目されています。今年で制度創設62周年を迎え

る高等専門学校卒業生・修了生が、産業界で高く評価されているからです。

これからのSociety5.0を更に牽引し、技術を活用したSDGsの実現、そして、新たなサービスや産業の創出ースタートアップーの中核となりうる人財として卒業生や修了生が大いに期待されているのです。

本法人として気候非常事態宣言を発出し、本校ではSDGsに係る研究や教育、学生活動等、の様々な取り組みを進めており、グリーンデジタル人材育成に係る施策も準備を進めています。加えて、新たに東京都が求める、スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」にも取り組み始めました。

皆さんには、高専で培った実践力を生かし、SDGsの実現が求められる世界で、益々加速するデジタル化を進め、また、スタートアップに係る中核となり活躍することが期待されています。

Society5.0時代の技術者には、技術を駆使して社会を変え、前述の目標を実現させる力があります。私は例年、入学式、年頭のメッセージや卒業式・修了式にて、将来の「志」に繋がる、自分が関わりたい技術が描く“近未来社会”の「夢」を持ってほしいとお話ししています。変化の激しい幕末に生きた吉田松陰氏は「志(こころざし)を立てて以て万事の源(みなもと)と為(な)す」と語っています。自ら立てた「志」には「万事の源」となるパッション(情熱)が宿るのです。次のステージでも「夢」を持ちつづけ、そして、家族・仲間や社

会とのかかわりの中で、「夢」を、困難をも乗り越えて具現化する「志」に昇華させて、皆さんの自己実現を目指してください。

主役は皆さんです。本校での学びと経験に自信と誇りをもって、新しいステージに進んでください。皆さんの活躍を期待しています。

本校はこれからも皆さんを応援していきます。卒業、修了する皆さんには、母校を生涯の学びの場として、これからも積極的に活用していただけることを願っています。

令和6年3月18日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 吉澤 昌純